

事業所名

すくすく塾新保

放課後等ディサービス 支援プログラム

作成日

令和 7年

2月

19日

法人(事業所)理念		それぞれの個性を尊重して可能性を信じ、一人一人が輝けるように思いやりと優しさを持って支援します。		
支援方針		学習支援・SST(ソーシャルスキルトレーニング)を支援の柱とし、5領域の視点「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」での支援・移行支援・家庭支援・地域支援を取り入れ、お子様にとって必要なことを組み立てながら、オンリーワンの支援を行っていきます。お子様や保護者様の困り感に寄り添い、学習支援は個別対応で一人一人に合った学習方法を見つけ、学習への抵抗感を軽減すると共に、出来る事への喜びや達成感を感じられるように取り組みます。また、必要に応じて小集団を取り入れながら社会性を育んでいきます。		
営業時間		平日 11時00分から 20時00分まで 土・祝・長期休暇 9時15分から 18時15分まで	送迎実施の有無	あり なし
*運営時間に関しては事業所ごとに若干異なる場合がございます。 支援内容				
本人支援	学習支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に対する抵抗感を軽減し意欲を高める ・「分かる」「出来る」を増やし自信を培っていく ・宿題や課題・苦手な学習の支援を行う 		
	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 【健康管理】生活リズムを整える・適宜休憩をとる 【食事】手と口の協調運動や咀嚼機能の向上・両手動作や手指機能の向上 【更衣】ボディースキーマや両手足協調運動の向上・チャック・ボタン等のつけ外しの理解 【排泄】排泄感覚の発達・体幹筋力の向上・家以外のトイレに対する不安の軽減 【身だしなみ】身だしなみを意識する 【移動】公共交通機関の利用方法の理解・交通ルールの理解や危険予測の向上 【物の管理】不注意の軽減・物事を順序良く整理する力やワーキングメモリーの向上・視知覚や記憶する力の向上 【時間の管理】気持ちを切り替える力の向上・時間間隔の発達を促す・物事を順序良く整理する力やワーキングメモリーの向上・視知覚や記憶する力の向上 【金銭管理】金銭感覚やお金の計算をする力の向上・硬貨や紙幣の種類や価値を理解する力の向上・買い物の手順を理解する 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 【感覚探求・低反応】感覚に対して適応反応を促す・過剰は軽減(環境調整の検討) 【筋緊張】姿勢を保つ力の向上 【バランス】姿勢・バランス機能の向上 【眼球運動】目の補正機能の向上 【身体図式】自分の体の位置を把握する力の発達を促す 【運動企画】運動企画の発達を促す(縄跳び・ボール遊びなど) 【協調運動・リズム運動の向上】 【手指の感覚】感覚機能の向上・つまむ力の向上 【指の分離運動の向上】 【目と手・両手の協調運動の向上】 【視知覚の力の向上】 【視知覚のワーキングメモリー・短期記憶の向上】 【書字運動・運筆操作の向上】 【姿勢保持の向上】 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 【眼球運動の向上】 【視知覚の向上】 【視覚性ワーキングメモリー・短期記憶の向上】 【デコーディング】文字を音に変換する力の向上 【計算・文章読解の向上】 【エンコーディング】頭に浮かんだ言葉を文字に変換する力の向上 【思考力の向上】 【判断力の向上】 【表現力の向上】 【解決行動の獲得】 【回避行動の獲得】 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 【指示理解力の向上】視覚的指示理解・聴覚的指示理解 【語彙力・語想起の力の向上】 【発達の表現力の向上】 【口腔機能・呼吸調節】口や舌の協調運動の向上 【構音機能の発達を促す】 【伝える力(文章構成)】人へ伝える力の向上 【受容力の向上】受容的な態度への認識と理解 【推察力の向上】 【主張する力の向上】自分の想いを明確に伝えることが出来る 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 【ルールの理解】規範意識が持てる 【注意の切り替え】 【感情の抑制機能の向上】 【相手に伝える力の向上】 【他者視点】相手の立場を考える力の向上 【協調性】他者と力を合わせて活動に取り組む 【役割理解・関係調整】自他の役割を理解し、良好な状態を形成する 【自己理解】自身の性格や長所・短所を理解し、他者とのコミュニケーションに生かす 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学びの場を確保し、環境を整え、家族及び関係機関との情報連携を実施する ・保護者が子どもの発達や障がい理解し、その成長に応じたニーズの変化を受け入れ、肯定的に支えられるように信頼関係を構築し、相談援助を実施する 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関(他事業所・相談支援・教育機関)と連携し、情報共有することで一貫性のある支援を行っていく ・ライフステージの切り替えを見据えた社会参画のサポート 	
地域支援・地域連携	関係機関(他事業所・相談支援・教育機関・医療機関)と連携し、情報共有することで一貫性のある支援を行っていく	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講演会・各種勉強会・研修への参加と実施 ・支援方針・支援方法についての内部研修・情報共有 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント的活動の実施(工作・調理・外出イベントなど) ・公共交通機関を利用した外出 ・防災・避難訓練 			